

学力向上に効果のある取組事例

杵築市立宗近中学校

基礎的・基本的な知識及び技能の習得/主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

- 三つの柱
- ①「同じ問題3回」サイクル・・・知識・技能の定着
 - ②思考のゆらぎの場面を設定・・・思考力の高まり
 - ③ゴールの共有・・・学習意欲の向上に生かす評価

「同じ問題3回」サイクル

授業・チャレンジタイム・家庭学習の3ステップサイクルを5教科で展開し、忘れた頃に思い出す、「同じ問題を3度」をキーワードに知識・技能の確実な定着をねらう。

○授業

- ・見通しを持たせるための単元学習計画の提示。
- ・板書モデルを策定し、全教科で基本線を統一。
- ・「つけたい力」を予め明示し生徒と共有。

○チャレンジタイム（朝学習）

- ・授業で扱った、単元テストや定期考査で出題できる問題を1学期分まとめて準備し、忘れた頃に取り組む。

○宿題

- ・その日の授業の復習となるような内容を課す。
- ・教科連絡係が終学活で必ず確認伝達する。

宗近中学校

家庭学習5つのポイント

家庭学習で学力UP!!

1. まず、宿題→予習・復習・自分勉強
2. 決まった時間に決まった場所で
3. やることを決める(100字書く、20問解くなど)
4. 机まわりをきれいに
5. 目と口と手を使って覚える

伸び悩みの原因は?

- △学校で友達の問題まるうつし...
- △教科書もワークも多物におきっぱなし...
- △机の上にお菓子やプリントや漫画が...
- △携帯電話やゲームを手放せない...
- △寝るのは深夜になってから...

学校の授業 → 家庭学習の継続 → 学力UP!!

伸びる人はこんな生活!

- すすんで寝る
- 正しい音読
- しっかりと寝る
- 早寝早起
- 整理整頓

家庭学習時間の目安

10月×学年	中学生は7・8・9年生
中1	10×7=70分
中2	10×8=80分
中3	10×9=90分

エビングハウスの忘却曲線

学習した内容の記憶率

学習後1日: 約70%
学習後1週間: 約50%
学習後1ヶ月: 約30%

学習の回数が増えれば、忘れにくくなる!

取組の具体②

主体的に学習に取り組む態度の涵養

「授業共創宣言」の採択

生徒総会において、生徒会執行部から提案し、採択。各専門委員会は、宣言に沿って実効性のある取組を企画・提案・実施する。

○学習ステーション～図書委員会～

- ・放課後、各階に学び合い・補充学習の場として図書委員会が設置・運営する。
- ・学習サポーター（先生役の生徒）に教えてもらった、黙々と自学自習したり等、生徒の自主性に任せる。

「学びに向かう学校づくり」生徒推進フォーラム参加

- 実践発表校・オブザーバー参加校として継続参加。
- 全校集会において還流報告会の開催。

宗中授業像

個人としてどんな力をつけるか

授業意欲をもってねはり自ら考え表現できる。

学校の一員としてどんな力をつけるか

友だちの意見を尊重し積極的に発表する。

全員が参加し、メリハリある授業。

始めのあいさつで気持ち引き締め、授業内で理解できるように集中する。

どんな学び方をしたいか

写真: 生徒が図書委員会主催の学習ステーションで勉強している様子。